



チケット発売 ■ 宝くじ文化公演 「映画音楽とオペラアリアへの誘い」

日時 平成26年1月18日(土) 15:00開演
場所 夢ホール(文化会館)
出演 弁士・司会: 桂米團治
 指揮: 船橋洋介
 管弦楽: 関西二期会
 オペラアンサンブル
曲目 ひまわりより「愛のテーマ」
 カルメンより「闘牛士の歌」ほか
入場料 全席指定(一般3,000円、高校生以下1,500円)
 ※宝くじの助成による特別料金です。
チケット発売日 10月1日(火)
販売場所 文化会館、平惣書店(阿南センター店、
 羽ノ浦国道店、小松島バイパス店)、フジグラ
 ン阿南、アピカ
 ※未就学児は入場できません。
 ※託児室あります。(事前に申込みが必要)
問い合わせ 文化会館 ☎21-0808 へ



■ 「第14回 邦楽への招待」

～遠tone音コンサート～
 遙かなる大地 北海道の原風景
日時 10月24日(木) 19:00開演
場所 コスモホール(情報文化センター)
出演 遠 tone 音(三塚幸彦、小野美穂子、曾山良一)、内田道子
曲目 「北飛行」「石狩川」「道」ほか
入場料 一般2,000円、学生1,000円、
 高校生以下は無料(全席自由)
 ※当日券は500円増し
チケット販売 情報文化センター、夢ホール、市
 民会館、平惣書店ほか
問い合わせ 情報文化センター ☎44-5000 へ

■ 「第16回クリスマスライブ」出演者募集

日時 12月8日(日) 13:00開演予定
場所 コスモホール(情報文化センター)
募集数 公募による12組程度(応募多数の場合は抽選)
参加料・入場料 無料
参加資格 市内在住でロック・ポップス・フォーク等の楽器演奏および歌唱をされる個人またはグループ(市民1人以上含む)など
申込締切日 11月4日(月)
問い合わせ 情報文化センター ☎44-5000 へ

秋の祭典 「第42回阿南市文化祭」のご案内

| 場所 | 月日 | 10月 | | | 11月 | | | | | | |
|------------------|----|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------|-----------------------|---------------------------------|--------|--|
| | | 24日(木) | 26日(土) | 27日(日) | 2日(土) | 3日(日) | 4日(月) | 5日(火) | 9日(土) | 10日(日) | |
| 文化会館 | | | | | 美術展 9:00~17:00 (4日は16:30まで) | | | | | | |
| | | | | | | 舞踊祭 11:00~16:15 | 音楽祭 10:30~16:00 | 中学校音楽祭 10:00~15:00 | 学童展 9:00~17:00 (10日は16:00まで) | | |
| | | | | | | 華道展 9:00~17:00 (4日は16:00まで) | | | 人権教育コーナー | | |
| | | | | | | 茶会 10:00~16:00 (裏千家) | | | 阿南の夏まつり写真展 | | |
| 市民会館 | | 小学校音楽会 9:00~12:30 | | | | | | | | | |
| ひまわり会館 | | | 短歌大会 13:00~17:00 | 俳句大会 13:00~17:00 | | | | | | | |
| 富岡公民館 | | | | | 寒らん展 9:00~17:00 (4日は16:00まで) | | | | 学童展 9:00~17:00 (10日は16:00まで) | | |
| | | | | | | | | 勤労青少年ホーム展 | | | |
| J Aあなん駐 車 場(領家町) | | | | | | | 日本鶏展示会 | | | | |

美術展作品の受付・搬入 10月27日(日) 9:30~12:00(文化会館研修室) 問い合わせは 文化振興課 ☎22-1798 へ

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会
 会長 湯 浅 良 幸

阿南市上中町

「上中町」。地形的にも歴史的にも変な名前である。たとえば那賀川町、吉野川市、美波町、四国中央市等々、どこにあるのかよく分からない。
 上中町は旧那賀郡中野島村の西部に位置する南島、岡、中原の三部落を阿南市誕生時、新町名として生まれた。もともと上中は中野島村の西部に位置していたから俗称として使用されていた。旧中野島村の場合には格別違和感はなかった。しかし、阿南市ともなると地形的にも決して「上中」部に位置していない。上中



町の北側には那賀郡羽ノ浦町があった。阿南市としては最北部であつても決して「上中」部ではない。「上那賀町」(那賀町)とよく間違われた。
川の流れは変わる
 那賀川が現在の流れとなったのは、室町時代初期である。それまでは主流が二本あった。一本は持井山ろくから古毛、岩脇、宮倉(羽ノ浦山の南)へ。別の一本は下大野町から長生町西方山下へ流れ、そこから二つに分かれ一本は本庄から桑野川へ、さらに一本は中原、柳島、今市方面へと流れた。そして台風によってしばしば流れを変えた。
 たとえば昭和三十年頃南島八幡神社例祭に岩脇からダンジリ二台を曳いてお参りに来ていた。古庄の祭りには柳島から参加していた。室町時代初期までそれぞれの地域が地続きであったからである。
 俗説によると岩脇から南島八幡神社へ氏子として参拝に来ているのは、岩脇の八幡さんが洪水によって流され南島へ流れ着いたという。仮に流されたとしても南島へ着かずもつと下流へ流されたらどう。これは広い地域の岩脇から狭い地域の南島まで氏子として参拝するにはプライドが許さなかった。それで、このような理由付けをしたのだろう。
 昭和三十年頃まで羽ノ浦町明見は大野村に属した。明見の子どもたち



南島八幡神社遠景
 羽ノ浦町明見の風景
【お詫びと訂正】
 9月号の掲載内容に誤りがありましたので、次のおり訂正します。
 最後の段落の文中「橋」が「橋」

は八貫の渡しを渡って大野小学校へ通学していた。出水時には那賀川橋(古庄-南島間)を遠回りした。筆者は上中町南島在住だが、明見の子どもたちが重いランドセルを背負って南島の堤防を歩く姿を見たことがある。
 さて、上中町の町名だが、旧大字の南島、岡、中原のどれか一つを選べばよかったが、住民感情が許さなかつたのだろう。大字名からとると知名度では南島町、歴史上からは岡町となるが、これでは他の二部落が納得しないだろう。そこで妥協案として俗称の「上中」を新しい町名とした。
 上中町岡には日亜化学がある。(終わり)

科学 センター

特別観望会「惑星天体特集」
 金星・天王星・海王星

太陽をまわる惑星のうち、いくつかのものを一晩で同時に観望することができます。それらの惑星を大型望遠鏡で観察していきます。
対象 小学生以上
日時 10月6日(日) 午後6時~8時
参加方法 電話またはホームページからお申し込みください。
参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円

わくわく科学の広場

「輪ゴムパワーで行ったり来たり」
 輪ゴムを使った簡単で楽しい工作を行います。子ども向けで無料です。
日時 10月14日(日) 午前10時30分、午後1時30分の2回
参加方法 当日、開始時間までにお越しください。

問い合わせは 科学センター
 ☎42-1600 へ
10月の休館日
 7日(月)、15日(火)、21日(月)、28日(月)